

PRESS RELEASE

令和 8 年 5 月 1 5 日
 岡 山 大 学
 島 根 大 学
 岡 山 赤 十 字 病 院
 岡 山 市 立 市 民 病 院

医療圏を越えた医薬品の共同調達等に関する合意書の締結 ～大学病院主導による医薬品の安定確保体制の構築～

◆発表のポイント

- ・岡山地域の 3 つの公的医療機関が行ってきたフォーミュラリー推進について、島根大学医学部附属病院を加えた 4 機関で取り組むこととし、その実施に関する合意書を締結します。
- ・県域を超えた国立大学病院同士の医薬品共同調達を実施する事は、全国で初めての取り組みです。
- ・4 機関は、安定確保重点医薬品の運用に向けて、安定確保重点品目を定め、その調達を共同で実施します。

このことについて、以下のとおり調印式を開催いたします。

■調印式

名 称 「医薬品の標準治療の確立」及び「安定確保重点医薬品の運用」合意書調印式
 日 時 令和 8 年 5 月 21 日（木）15 時 00 分～（於：定例記者発表）
 出 席 者 岡山大学：那須保友学長、前田嘉信病院長
 島根大学：大谷 浩学長、椎名浩昭病院長
 岡山赤十字病院：實金健院長
 岡山市立市民病院：今城健二理事長
 場 所 岡山大学本部棟 6 階 第一会議室（岡山市北区津島中 1-1-1）

PRESS RELEASE

- ・国立大学法人岡山大学、国立大学法人島根大学、日本赤十字社岡山赤十字病院および地方独立行政法人岡山市立総合医療センターは、岡山大学病院、島根大学医学部附属病院、岡山赤十字病院および岡山市立総合医療センター（以下「4機関」という）が合同で設置した「岡山・島根地域フォーミュラリー推進協議会」における質の高い、経済的な医薬品の安定供給を重点的に確保するため、5月21日に次のとおり合意します。
- ・医学的妥当性と経済性を踏まえた医薬品使用方針（フォーミュラリー）を4機関で共同して策定し、標準治療の統一と質の確保を実現します。
- ・4機関は、医薬品の安定確保に向けて、安定確保重点品目を定め、医薬品の確保に努めます。その方策として、安定確保重点医薬品の調達を共同で行うことを目的に、岡山大学を契約担当法人とする共同調達に関する協定を同日付で締結します。
- ・岡山大学病院および岡山市立市民病院は、同時に発表する「医薬品共同配送事業」により、「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」を踏まえた共同配送を行います。

■現状と課題並びに今後の展望

現在、医薬品全体の約20%、とりわけジェネリック医薬品では約25%において供給不安が生じています。品質上の問題や自主回収が相次いだことで、医薬品の安全性や信頼性に対する懸念が広がり、医療提供体制全体に影響を及ぼしています。

このような状況の中、医療現場では多くの薬剤師が代替薬の確保や患者への説明対応に追われ、業務負担が急速に増大しています。国においても医薬品の安定確保に向けたさまざまな施策が進められていますが、依然として十分かつ持続的な供給体制の確立には至っていません。

さらに、医薬品供給に関する問題はマスメディアでも広く報道されており、患者や市民の間で医薬品に対する不安が全国的に拡大しています。医薬品の安定供給は、国民の安心と医療の信頼性を支える重要な社会的課題となっています。

こうした課題への対応策として、共同調達の取り組みを進めています。従来は各医療機関が異なる卸業者から個別に医薬品を購入していたため、供給ルートが分散し、安定確保に課題がありました。安定確保重点品目について納入業者を一本化することで、需要予測の精度向上と在庫確保の強化を図り、より安定した医薬品供給体制の構築を目指します。

● 岡山地域フォーミュラリー推進協議会（令和7年4月1日設置）

岡山大学病院・岡山市立総合医療センター・岡山赤十字病院が連携し、フォーミュラリー推進、共同調達、共同配送の3つの柱で医薬品の安定確保と標準治療の確立を推進しています。

- 1 フォーミュラリー推進：医学的妥当性と経済性を踏まえた医薬品使用方針を3機関で共同策定。標準治療の統一と質の確保を実現します。
- 2 共同調達：安定確保重点品目について3病院が卸業者を一本化。まとまった発注で卸業者の需要

PRESS RELEASE

予測が安定し、在庫確保が容易になります。3 機関での共同調達の合意書、協定書ともに令和 7 年 5 月 22 日に締結しています。岡山市立総合医療センターは、岡山市立市民病院と岡山市立せのお病院の 2 病院が参加しています。

3 共同配送：もう一つのプレスリリース「国立大学病院が主導した医薬品の共同配送を開始」をご参照ください。

※岡山・島根地域フォーミュラリー推進協議会設置に伴い、本協議会は廃止

● 岡山・島根地域フォーミュラリー推進協議会（令和 8 年 4 月 1 日設置）

- 1 岡山エリアで積み上げた共同調達モデルを基盤に、島根大学医学部附属病院の知見と融合し広域的医薬品供給体制を構築します。
- 2 大学病院同士の連携に市民病院・日赤病院も加わった全国でも極めて稀な取り組みです。

■補足・用語説明

・地域フォーミュラリーとは、「地域の医師、薬剤師などの医療従事者とその関係団体の協働により、有効性、安全性に加えて、経済性なども含めて総合的な観点から最適であると判断された医薬品が収載されている地域における医薬品集約及びその使用方針」です。

患者に良質な薬物療法を提供することを目的として最新の科学的なエビデンスに基づき、地域における関係者の協働の下で作成・運用されるものであり、後発医薬品の促進や患者の自己負担抑制などの効果も見込まれます。（出典：厚生労働省 HP）

<お問い合わせ>

岡山大学病院

病院長補佐 山下 博行

（電話番号）086-223-7151 内線6084

（FAX）086-235-7636

医療系事務部 管理課長 藤井 慎一

（電話番号）086-235-6516

（FAX）086-235-7046